

危機管理委員長挨拶

危機管理委員長 高柳 育行 (本庄RC)



ハラスメントのないRotary

ロータリーは、すべての人に安全で、楽しく、差別のない環境をつくるために、ハラスメントに関する方針を定めています。この方針で「ハラスメント」とは、個人またはグループと特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会・経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認）に基づいて、言葉または身体的に、中傷、侮辱する言動、または攻撃的な言動を指すと定義されています。

「ロータリー章典」には、多くのハラスメントに関わる条文があり、ハラスメントのない環境を重要視していることがうかがえます。特に「青少年と接する際の行動規範に関する声明」では、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くす責任があるとしています。また「虐待およびハラスメントの防止と報告手続き」では、ハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する方針（ゼロ容認方針）を有するとしています。

当地区では、危機管理規則と危機管理規定を制定しています。そのもとで危機管理委員会を設置し、必要に応じて危機管理委員会を開催しています。迅速かつ適切に対処することにより、ロータリーに対する信頼を高めたい考えですが、地区への報告が必要です。危機管理委員会は、その危機事案が対処事案であるかどうか判断のうえ、適切な対処のための方策を講ずることを任務としています。

青少年に関わるロータリーの奉仕プロジェクトである青少年交換プロジェクトでの交換学生やその候補生、ロータリー米山記念奨学事業での奨学生や学友、更には、インターアクト、ローターアクト、ロータリー財団の候補生や学友に対して、ハラスメントのない環境を提供することは大切なことです。そして各クラブが行う社会奉仕等に関わる青少年に対しても同様に配慮が必要です。

青少年交換事業やロータリー米山記念奨学事業では、お世話をしていただくクラブの関係者だけでなく、ホストしていただくご家族、またその関係者もいて、多くの方々にロータリーの活動に関わっていただいております。その方々にも、ハラスメントのない環境をつくることにご協力いただかなければなりません。

ハラスメントの事案は、相手への思いやりが欠けていたり、謙虚でなかったり、余裕がなかったりしたときに起こるものです。ロータリーの活動で不安や不信感、不愉快な感情を持たせるだけでなく、重大な傷を与えることもあります。青少年に関わる奉仕活動だけでなく、ロータリアン同士の間でも、自分の言動が相手にどのような影響を与えるか、想像しながら取り組んでいただき、信頼関係を構築して欲しいと思います。信頼関係のもとで、多くの人々が関わり、奉仕活動をすることにより、魅力のあるロータリーになる確信しています。皆様のご理解とご配慮をよろしくお願い致します。